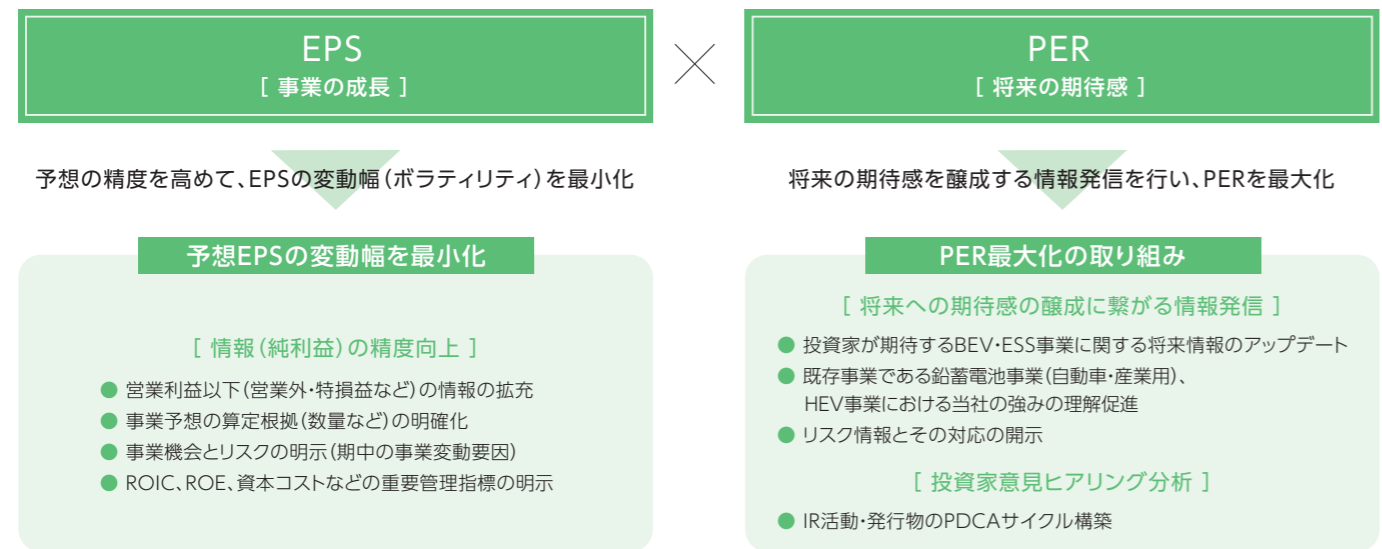


# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社では資本コストの把握ならびに市場評価を踏まえた現状分析、計画の策定などについて取締役会において議論を重ね、さらなる企業価値向上を目指して資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて取り組んでおり、時価総額の拡大とPBR向上を図っております。

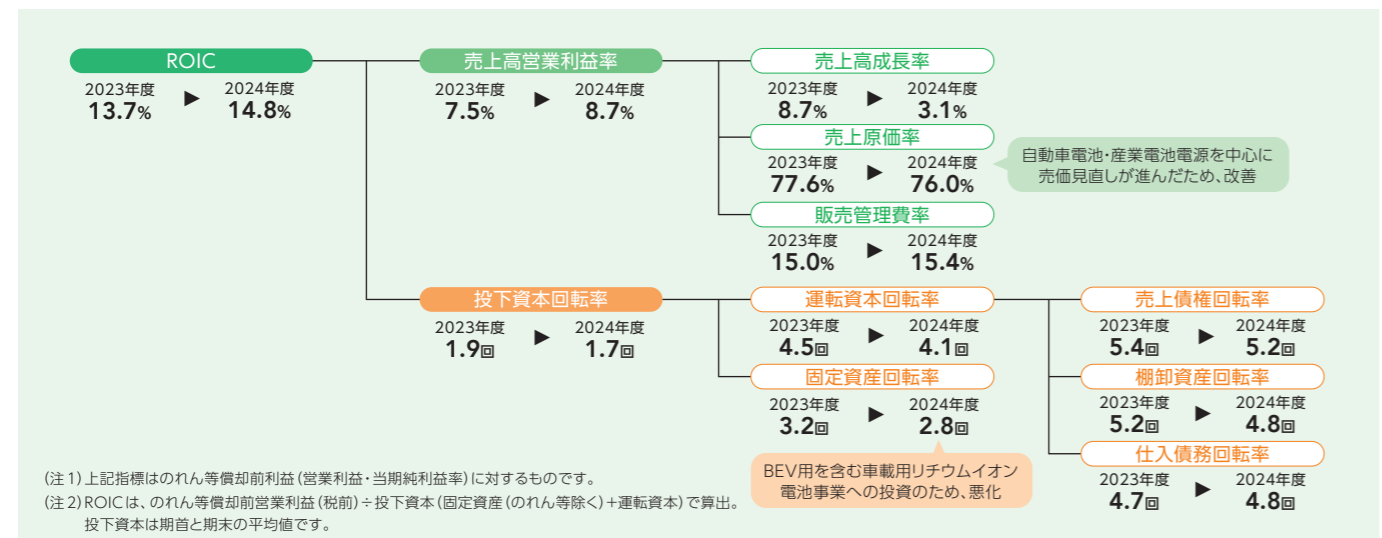
株価を構成する要素の一つであるEPSについては、カーボンニュートラル実現に向けたグローバルな蓄電池需要の拡大機会を最大限に生かすべく成長投資を進めるとともに、既存事業の収益力強化などにより事業の成長を図り、EPSを高めてROEを向上させるように努めています。加えて、中長期の目標達成に向けた取り組みや事業の成長性や将来性について、投資家と経営陣が積極的に対話を行うことで、時価総額の拡大とPBR向上を図っています。



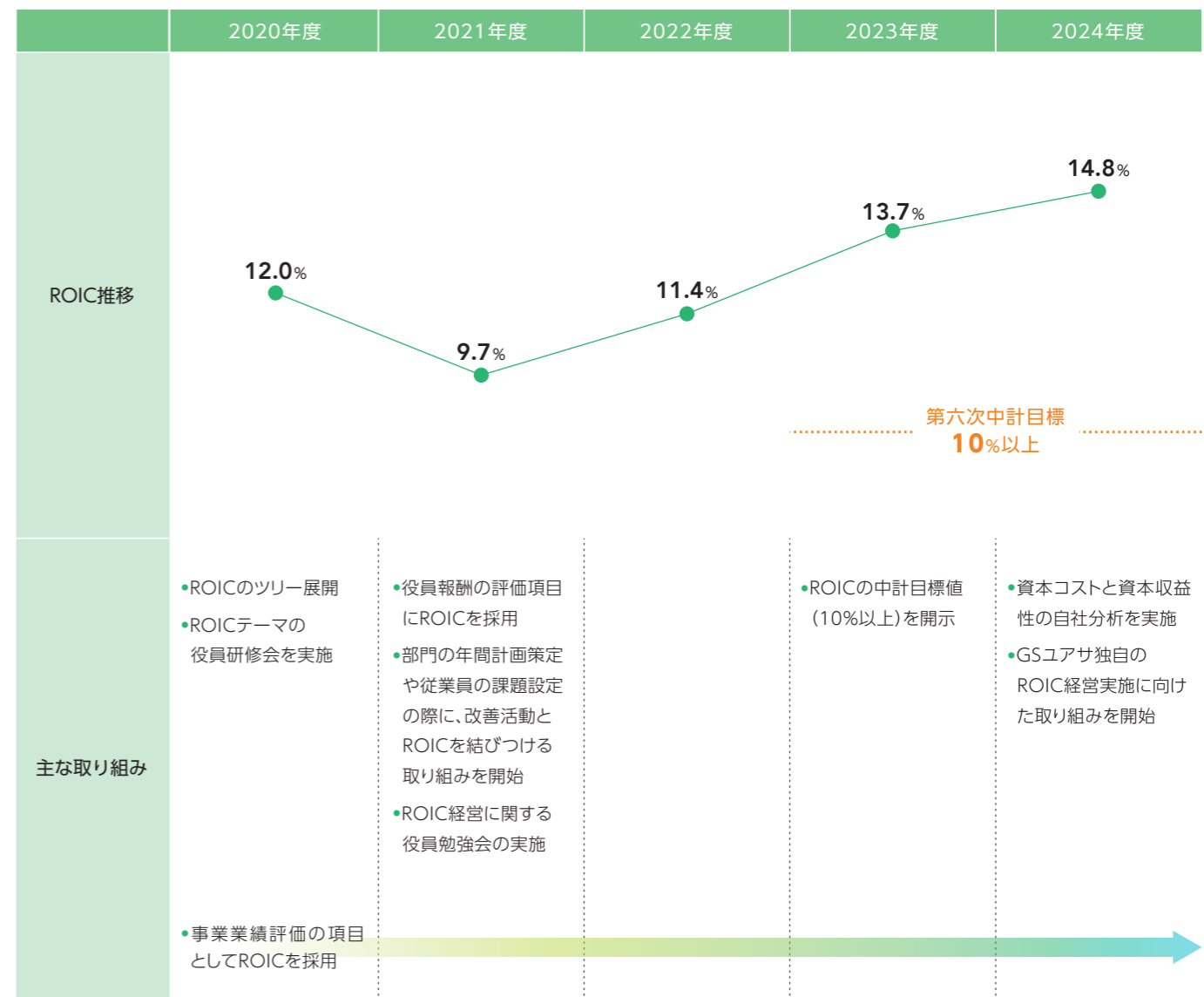
詳細は、コーポレート・ガバナンス報告書「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」をご覧ください。  
▶ <https://ir.gs-yuasa.com/jp/ir/library/governancereport/main/04/teaserItems1/03/linkList/0/link/pdfFile.pdf>

## ROICツリー

当社では、第六次中期経営計画においてROICを経営目標の一つに設定し、向上を目指しています。2024年度の投下資本回転率は横ばいとなりましたが、売上高営業利益率は、主として自動車電池と産業電池電源の販売数量の増加や販売価格是正の取り組みにより向上しました。この結果、全社のROIC数値は前年度の13.7%から14.8%へと上昇しました。車載用リチウムイオン電池事業では、成長分野への先行投資が大きく、年度によってバラつきがあるため、ROICは単年度の比較ではなく、中長期の推移で評価管理しています。



## ROIC経営の社内浸透に向けた取り組み



## ROIC向上に向けた取り組み

ROIC向上のドライバー	主な取り組み
営業利益の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 営業利益率の向上</li> <li>● 低収益事業の見直し：中国事業の再編</li> <li>● 販売価格の是正</li> </ul>
資産回転率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 固定資産回転率の向上</li> <li>● 不動産の売却</li> <li>● 政策保有株式の売却</li> <li>● 手元資金と有利子負債の圧縮</li> <li>● グループ内でのキャッシュ・マネジメント・システム（CMS）の実施</li> </ul>